

関係の】練習……、人間関係ももうちょっと器用に、じゃないけど、やる必要があるのかあって思いますけど。

### オネエキャラへのアンビバレントな意識

〔メディアからの影響ですか？〕メディアといつたら、オネエキャラしかないから……。あんまり、自分が見てるときに、他人（ひと）と見たくないですね。やっぱし、なんか批判されるところがあるだろうし、「どう思う？」とか言われちゃうと、なんか答えづらい部分とかもあるかなあとか思いますね。——自分は〔あのひとたちと〕一緒にじゃないよっていうことは伝えたいなあっていうふうに思うけど、の人たちはの人たちでいいと思うんですよ、自分としては。なので、それはそうかなみたいな感じですけど。なんかまあ、やっぱし、勘違いされるのは嫌だなあって思います。

〔実際にそういう番組を誰かとみた経験はあるか、ですか？〕——なんか、自分はわりとチャンネル変えます。「他の見たいんだけど」みたいな感じで。家族と〔一緒に〕見たくないでの。〔ゲイの友だちとだったら、ですか？〕見れるかも。ふつうに、笑う。変な笑いじゃなくて、普通に、なんか楽しみながら見れそうな気はします。おかしく楽しく。べつにその人たちのことを非難とかじゃなくて……。やっぱし、そういうオネエだって、ある意味、いわゆる普通の人から外れた人じゃないですか、いわゆるですけど。そういう人たちが非難をされるのをもし見ちゃうと、——普通のノンケの人たちと見てて、自分たちもやっぱ普通の人たちとは外れた道じゃないですか。なので、ああ、じゃあ、自分たちも非難の対

象なんだなって思うから、やっぱし、まったく別とは見れないんですよね、そのオネエの人たちのことを。そういう意味で嫌な感じはしますね。やっぱし、自分のなかに、格好とかはそこまで、いわゆる〔Male to Female の〕T（トランスジェンダー）のひとまでいってないけど、やっぱしちょっと女らしい部分とかもあったりして、そこを非難されてるように見るのはつらい。両方ありますね。

### 地方の子にも見てほしいとブログを始めた

〔ブログとかミクシィで自分を表現しているか、ですか？〕過去は全然、もうほんとに高校までは、とりあえず自分が脱出するために通らなくちゃならない道だみたいな感じだったんですよ。自分に課されたタスクじゃないけど、そういうふうに捉えてやってきたので、もうまったく早く抜け出してやろうと思ったので、とくに何もしないし、ここを抜けるまでは自分のことを隠していくうと思ってたんですね。そういう意味で大学に入ったときは、でも、1年間くらいはノンケ生活がんばって、ミクシィとかしてたんだけど、そんときは〔相手は〕普通の友だちだったんです。そうやって、次の年、2年生の4月からは、〔ゲイの〕友だちに会って、「ノンケとのミクシィなんてつまんない、あんなのやめなよ」みたいな感じで言われて、バサッとまた切って、新しいゲイ向けのミクシィを始めました。それから、3人っていうふうに、いま言ってるんですけど、スタッフとかで仲良くなって、いまはブログを始めます、3人で。イベントの告知はしますし、とくに、ゲイとかバイセクシュアル向けとかも入れ

ますし。ゲイダーとか知っています？ 掛けてるんです、ゲイとレーダーを。それで、そのネタを使ったブログを書いたりとか。いつもそれを書いてるわけじゃないんですけど、まあ、そういうふうに、けっこうわかるようにして。自分たちもやっぱ、地方で悩んでたのもあるから、ネットの部分とかも、地方の子にも見てほしいんだっていうのがあって、ブログとかを始めてます。アクセス数とか見ると、まあ、ぼちぼちですね、楽しみあります。

### カミングアウトの体験

[カミングアウトですか？] 最初にしたのは、6月くらいですね。2009年です。はい。その〔相手の〕人が、予備校の人っていうか、結局、いまも同じ大学なんですけど。地方のときに予備校で知り合って、それから同じ大学にたまたま行ったんですけど、そんなわけで、最後らへんのほうに仲良くなつて、それで、カミングアウトついでに、告白もしちゃいましたね。——大学入試の前くらいから仲良くなつて、大学1年生のときもずっと仲良くしてたので。

[カミングアウトしようと思ったのは] 「すこたん」のイベントっていうので、一つのテーマについて話し合うっていうのがあるんですね。なんか変わったイベントなんんですけど。で、自分が最初に参加した4月18日っていうのは、親へのカミングアウトという議題について参加者の人が話す…。そんとき30人くらい来てたんですけど、自分より全員年齢が上の人なんで、自分が最年少だったんですけど、だいたい20代後半、30代、40代の人とかが集まって、みんないろいろ経験があるから、その人の経験

とかの話を聞いてたっていうのがあって、やっぱ、カミングアウトに対するちょっと思いがあった。

というのと、自分は高校のときも、誰かに話したら楽になるんだろうなあっていうふうには思ってたんですけど、やっぱ信頼する人にしか絶対言わねえぞ、みたいな…。自分にとっては自分の性的指向っていうのは大事だったから、やっぱり、自分にとって大切な人ができたらその人に言おうっていうふうに決めてたわけですね。そういう意味で、なんか大学に入る予備校のときくらいからはだいぶ仲いい人ができて、その人とも仲良くなってきたし、やっぱもう一つは、仲いい〔ゲイの〕友だちもできてきたし、あと、その最初の「すこたん」のときに、同年代の人が親にもカミングアウトをしてるんだって話してたんですね、みんなの前で。そういう話もあって、すごいなって思つたりもしたし。そういう仲良くなつた〔ゲイの〕友だちもいたし、まわりの話も聞いたりしたりして。で、1ヶ月、大学(がっこう)に行かなかつたとかもあつたから、なんか、むこうも、その仲良い子は心配して〔くれて〕たから、その人とたまたまゆっくり話す時間もとれたのもあつたので、自分の気持ちも一緒に伝えて、踏ん切りをつけたかったし。まあ、自分のことを言ったほうが、〔そのことで〕その人とも関係がよくなつていったらしいなあっていう期待もあって、言ったっていう感じですね。

[そのときの相手の反応ですか？] やさしい人だったので、「あつ、そうなんだ。気付かなかつた」みたいな感じで。自分がそういう、男の人が好きなんだよみたいな感じ

で言って、で、相手のことも好きなんだよって感じで言って。つい、ぽろぼろと言ったんですけど、「そうなんだ、わかったよ。でも、気持ちには応えられないや」みたいな。「でも、べつに嫌いにはならないから大丈夫だよ」みたいな感じでしたね。その後はちょっと悲惨なんんですけど、わりと。なんていうかな、その後は何回か会ったけど、ちょっとぎこちなくて。自分の気持ちを伝えたのは、べつに、相手に受け入れてほしいとかっていう気持ちは微塵もなかったんですけど。やっぱ、むこうも無理だろうなって。異性愛者だってことは、彼女と付き合ってたこととかもあつたりはして、まあ、わかってたので、そういう思いはなかったけれど、やっぱ、どうしてもつらかったりするところはあったから、ちょっと距離を置きたいというか、「ちょっとごめん、しばらく連絡とりたくない」みたいな感じで、ちょっと切れたというか、ちょっと連絡が途絶てる。〔カミングアウトは〕6月くらいに言って、11月くらいに、「会おうよ」みたいな感じで、むこうがすごい誘ってくれたんですけど、「ごめん、会えない」みたいな感じで、逆に、おれが避けちゃってるんですね。避けちゃってるってわけじゃないけど、自分のなかでもうちょっと距離を置きたいっていうのもあつたりして、この前も「1月に会おうよ」って〔メールが〕きたけど、「ごめん、無理」みたいな感じで言って。いま、そういう状態です。つらいけど。なので、すごいほんとにいい人ですね。やさしい人です。

〔カミングアウトは〕その後に、何回かしたかな。語学のクラスっていうのが大学であるんですけど、そのクラス、1ヶ月くら

い〔さぼって〕。〔クラスの〕仲いいひと何人かからメールが来ても、全員無視してたから、なんかもう、クラスに入るのも入りづらくなつたので、まあ、1人の子がちょっと誘ってくれたから、女の子だったんですけど、その子に一応カミングアウトをして助けてもらいました。

〔だから〕予備校の友だちに〔して〕、〔その〕女の子にして、〔あと〕知り合いの男の先輩に1人して、ですかね。だいたい全部、いわゆる失敗はしなかったです。みんなわりと「あっ、そうなんだ」っていうふうに〔反応してくれてる〕。まあ〔相手を〕選んでるってことはあるんですけど、やっぱ見極めてるので、反応はいまのところ悪くなくて。〔見極めるって〕やっぱ、とりあえずは、〔ぼくと相手との〕ふたりの関係性ですよね。しっかり信頼し合ってるとかってどこに、すごく重要視して。仲良く信頼関係築けてたら〔カミングアウトしても〕大丈夫、って考えてますね。

高校と大学だと、自由度が違うじゃないですか。高校とかは、なんだろう、閉じ込められた場というか、すごい閉鎖的というか。とかだと、やっぱ、なかなか近づきがたいし、自分のすべてを見せてるわけじゃないけど、なんか、べたべたした付き合い方になっちゃうけれども、予備校、大学だと、ある程度距離を置いた付き合いもできるので、そういう意味でやっぱ付き合いやすかったのかな。それでやっぱ、信頼関係、ちょっとずつだからすごい時間がかかったんですね。予備校の、その最初の好きだった男の人とかもだんだんと仲良くなれたり。急激に仲良くならなくてよかったです。クラスの子とかも、やっぱ、2年目にカミング

グアウトできたりだとか。予備校の女の子とかも、距離を置いて仲良くなれたっていうのが大きかったかな、というふうに思います。

### もうちょっと世の中が変わったら、もう一度ゲイに生まれたいと言えるのかな

〔同性を好きでよかったことってあるかですか？〕いまは、なんか、自分はすごい恵まれてるところもあると思うんですけど。

「すこたん」とかイベントに参加してると、同世代だけじゃなくて上の方とも交流ができるから、すごいいろんな意見とかも聞けることとかもできて。学生だと、やっぱどうしても、学生としか付き合わないんですけど、上の人とかとも交流ができたりする部分は、他の人よりも世界が広くなりますし、考え方方が柔らかくなってる部分があるなあって。やっぱ、大学で普通にノンケ生活してたら知り合えない人とかどんどん知り合っていける。仲いい人も違う大学の人だし、そういう意味でどんどん自分の世界が広がっていってるっていう部分と、もうひとつは、世間の価値観に縛られない考え方をだいぶできるようになってきてる部分があったりもして。ロールモデルとかやっぱ世の中にあると思うんですけど、それ以外のこととも考えられるようになってきて、すこしなんか多様なことも考えられるようになってきてるかなって思うこともあったりして、それはすごいよかったのかなって思ったりしています。

〔生まれ変わってもゲイでいたいと思うかどうか、ですか？〕難しいところですね。正直な気持ちは、半分半分っていうのが、いまの自分のなかの答えだと思ってるんで

すけど、その答えっていうのは今後的人生の自分の選択によって変わってくるのかなって考えてるんで、これから自分がもしほんとに幸せになると、やっぱ、もう一度ゲイとして生まれたいと思うとは思うんですけど。まあね、いま、少数派ですから、どうしても大変な部分はあると思うから、たまに、なんか不安になるというのもあるから、何とも言えないけれども、自分としては、やっぱ、いまを良くしていくほかないのかなって思いますね。

〔でも〕それまでのプロセスは大変じゃないですか。もう一回やれって言ったら、やっぱ、小中高とかはつらい部分が大きかったかな。そういうことを考えると、すぐにはやっぱ、〔もう一度ゲイに〕生まれたいとかはないし、それこそいま、東京に来たからいろんな人には会えるけれども、地方にいたらそれはそれで、いまよりか絶対に自分らしくありづらい場所だったろうからと思うと、やっぱ、必ずしも誰もがすごしやすい世の中だとは思わないから、自分だけの意見で、いまは楽しいから、じゃ、生まれ変わりたいとかは、やっぱ言つたらいけないのかなと……。もうちょっと世の中が変わったら、うん、生まれわりたいって言えるのかなって思います。

〔現状だと〕なんか、自分も大学にはあまり知り合いはないので、〔友だち同士つれだつて食べてる〕学食とか見ると、きらびやかな世界だみたいな（笑い）。そういうこと考えると、やっぱ、〔ゲイ仲間との世界もノンケとの世界も〕全部楽しめたらしいじゃないですか、人生も。オフとオンじゃないけど、切り換えてる部分があると、たまに、なんかここもほんとは楽しめるのか

なっとかね、思うときがあったりはして。  
なんかちょっと、つらくないって言ったら

ウソかな(笑い)。そういう部分もあります。

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業  
沖縄県における男性同性愛者への HIV 感染予防介入に関する研究

男性同性愛者を対象とした出会い系掲示板の投稿文に見る  
セックスへの言及について

研究分担者：金城克哉（琉球大学法文学部）

研究要旨

沖縄県で利用されている出会い系掲示板を対象に、無作為抽出した 2,400 件の投稿について内容分析を行った結果、20 代と 30 代の利用者が 8 割を占めることが分かった。その内、20 代では約 35%、30 代では約 44% が性的接触を望む内容であるという結果が得られた。一方、セーフセックスへの言及は 20 代よりも 30 代が高く、30 代での意識の高さがうかがわれたが、同時に 30 代では HIV 感染の危険性のある行為を望む内容の投稿も 20 代より多いことが明らかとなった。

A. 調査目的

沖縄県では男性同性間における HIV 感染者が増加している。要因の分析は他の研究に譲るが、要因の一つに性的な接触の機会が増えたことがあると思われる。特に 1990 年代以降の情報化社会への変化、それに伴うインターネットの発達により男性同士の出会い系の形態が変化してきたことが大きく関与していると考えられる。そのような接触の機会の増大に影響を及ぼしているのがいわゆるはインターネット上の「出会い系サイト」である。このようなサイトでは閲覧者が「掲示板」に自ら希望する相手を求める記事を掲示することができ、また他者の募集記事を見て相手と接触をはかる。このような掲示板には 10 代をはじめとする様々な年齢層からの投稿があるが、そこには（非）性的な接触に関する事柄や HIV 感染の恐れのある性交渉を希望する投稿も見られる。本調査では、沖縄県で最も頻繁に利用されていると考えられる出会い系サイトを対象に、投稿者の年齢層、性的な接触を望む内容の度合い、セーフ指向の投稿および感染の恐れのある行為を指向する度合いを投稿文の分析により明らかにすることを目的とする。

B. 調査方法

今回の調査にあたり、地域の出会い系サイト、「沖縄ゲイ情報裏掲示板」の管理・運営者に協力を依頼した。対象としたインターネット上の掲示板は地域毎に分けられた南・中・北部と離島掲示板、年代に特化した 30 代掲示板、普通体型以上の体型に特化した掲示板の計 6 つである。2008 年 11 月 1 日～2009 年 4 月 30 日ま

での半年間の全投稿のうち、ウェブ上で参照できるものを利用した。対象期間の総投稿件数は 42,560 であった。それぞれの掲示板の月別の投稿数の内訳は表 1 の通りである。

サンプリングのために投稿数の最も少ない「北部掲示板」を基準とし、それぞれの掲示板の投稿数との比を求め（表 2）、この比率が反映されるよう、それぞれの掲示板について対象期間中の投稿の中から総標本数が 2,400（母集団の約 5.64%）となるよう無作為抽出により標本を採取し、KH Coder（樋口 2009）を用いてコンピュータによる解析を行った。

C. 調査結果

1. 投稿者の年代別構成

2,400 件の年代別投稿件数は以下の通りであった：10 代(75)、20 代(1009)、30 代(903)、40 代(125)、50 代(12)、不明(276)（図 1 参照）。

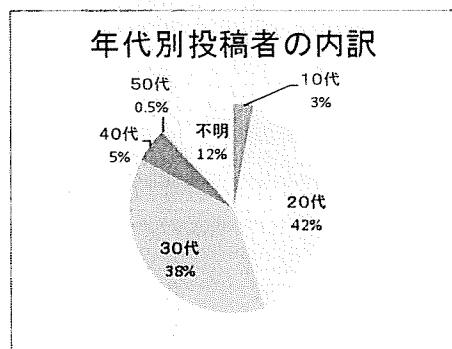


図 1 投稿者年代別構成比

## 2. 異なり語数・延べ語数・高頻度語

計量言語学でいうところの 延べ語数は 77,843、異なり語数は 3,548 であった。表 3 に本調査で得られた高頻度語 50 位までを示す。

## 3. 希望する性的接触の形態

肛門性交（アナルセックス）を表現する「掘る」（8 位）や口と性器の接触（フェラチオ）を表現する「しゃぶる」（17 位）などの語が高頻度語 50 位内にあることから、投稿文が単なる「出会い系」ではなく、性的接触を目的とした「出会い系」を希望する内容の投稿件数が多いことがわかる。

上記性的接触を望む投稿の内、身体接触を伴うセックスの形態を①口と性器の接触（フェラチオ）、②肛門性交（アナルセックス）、またそれとは別に③セーフセックスへの言及、④HIV 感染の危険性の高い体液接触を望むセックスへの言及について、コーディングを行った。表 4 は全体の投稿のうちの各セックスの形態の割合を、表 5 は各年代とセックスの形態のクロス集計を示す。

セーフセックスへの言及は 30 代で最も高く 46 件、続いて 20 代（24 件）、40 代（13 件）の順となっている。10 代でのセーフセックスへの言及は見られなかった。また掲示板毎のセーフセックスへの言及は多い順に南部（42 件）、中部（27 件）、太め（10 件）、30 代（9 件）となっている。

一方、体液接触を伴い HIV 感染の恐れのある危険な性行為への言及は 10 代と 50 代には見られなかったが、30 代で 13 件、20 代で 8 件、40 代で 3 件見られた。掲示板別では、南部（16 件）、中部（5 件）、太め（4 件）、30 代（1 件）となっている。北部掲示板と離島掲示板には危険な性行為への言及はなかった。投稿文中のこれらの性行為への言及例を以下に示す：

### セーフセックスへの言及

（Data No. 1022）余り経験ありませんがセーフでしゃぶりあいしたいなあ（30 代）

（Data No. 1250）ノリ良く複数で楽しみたいが必ずセーフで出せる大人を待ってます。（20 代）

### 危険なセックス（体液接触）への言及

（Data No. 201）ケツ疼いて仕方ないんでガツツリ掘りたい男前で短髪硬マラなタチ募集つす！生でガツツリ交尾したいっす！（20 代）

（Data No. 317）疼いてるエロマンコに生種欲しい。エロいデカマラタチ募集 スリム（30 代）

## D. 考察

今回調査対象としたような出会い系掲示板では投稿者が必ずしも希望する相手と出会えるわけではなく、互いにメールを交換する、直接会う前に画像を交換する、直接会って自分の望むような相手か確認する（そうでない場合にはそれ以上の接触を断る）というように掲示板への投稿から実際の接触までは段階があるということ、特に掲示板での性的接触の呼びかけが必ずしも実際の性的接触を意味するものではない。

同様のことはセーフセックスへの言及（そういった行為の希望）についても言えるであろう。セーフセックスへの言及がなされているからといって、実際の性交渉の場面でそれが実行されているのかどうかについては確実なことは言えない。しかし、少なくとも投稿内容として希望する性的接触を「セーフ」な行為に限定していることから、投稿者のセーフセックスに対する意識が高いということは言えるであろう。その一方、逆に体液接觸という HIV 感染の恐れがある性交渉を望む者は、相手との実際の性交渉の場面で危険な行為に及ぶであろうことは十分に考えられる。敢えて危険な行為を望む投稿数は全体のわずか 1.08%（26 件）にすぎないが、この数字の持つ意味は大きいと言わざるを得ない。

30 代では他の年代に比べセーフセックスに対する言及が多く、意識が比較的高い（46 件、5.09%）と考えられるが、その一方、危険なセックスを望む声もこの年代で高くなっている（13 件、1.44%）。標本中に 30 代が占める割合が特に高いわけではなく、逆に 20 代をわずかに下回っているため、危険なセックスを望む投稿件数が年代の割合に比例していると見ることはできない。この結果には様々な見方ができるであろうが、この年代ではどのように感染を防ぐことが有効であるのかという周知がなされている半面、そういったセーフセックス徹底への呼びかけに対する反動が起こっているのではないかと捉えることもできるであろう（このような体液接觸を伴う危険な性行為は英語で barebacking と呼ばれ、意図せずに危険な行為をしてしまう relapse とは区別される。詳しくはイーディー 2007:39 を参照のこと）。

年代では 10 代と 50 代、そして地域では北部と離島の掲示板では感染の恐れのあるセック

スへの言及はなかったが、同時にセーフセックスへの言及も見られなかった。他の年代に比べ性的に不活発になる（であろう）50代はともかく、これから性的に活発になる10代で、性的な接触を望む声があるにも関わらず（10代の性的接触への言及はフェラチオとアナルセックスを合わせても約18%である）セーフセックスへの言及が全くなされていないという結果には危機感を覚える。

### E. 結語

今回の調査ではコーディングという手法で出会い系掲示板の分析を行った。コーディングでは分析者の主観的な判断ができるだけ排除するためにキーワードを設定し、それによって投稿文を分類する。しかしながら、言葉は必ずしも辞書の定義通りの意味を担っているわけではない。同じ「セーフ（セックス）」という言葉を用いていても、その意味する内容は人それぞれ異なるであろう。例えば、コンドームを用いないフェラチオは、アナルセックスよりも「セーフ」であると考える者もいるかもしれない。感染予防という観点からは、「セーフセックス」という言葉がどういった行為を意味するのかの周知が欠かせないと思われる。また、「セーフセックス」を意識していても実際の場面では感染の恐れのある行為をしたり、出会った相手に嫌われたくないがゆえに相手の望むままに危険な行為をしたりしてしまうといったケースも考えられる。今後はこのような心理的な側面からのさらなる分析が望まれる。

### F. 参考文献等

- イーディー, ジョー:『セクシュアリティ基本用語事典』, 明石書店, 2007.  
樋口耕一:「KH Coder 2.x リファレンス・マニュアル」, 2009.

表1 各掲示板の月別投稿数と合計数

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
南部掲示板	3,753	3,335	3,528	3,333	3,887	3,639	21,475
中部掲示板	2,153	2,132	2,020	2,150	2,578	2,822	13,855
北部掲示板	195	154	138	140	123	121	871
離島掲示板	241	227	234	166	197	204	1,269
30代掲示板	243	236	264	291	344	328	1,706
太め掲示板	596	605	497	506	556	624	3,384

表2 北部掲示板を基準とした投稿数の割合と標本採取数

	南部	中部	北部	離島	30代	太め
北部を1とした割合	25	15	1	1	2	4
標本採取数	1,250	750	50	50	100	200

表3 高頻度語（50位まで 数詞を除く）

順位	語	度数	順位	語	度数
1	いる	1517	26	よろしく	203
2	する	1511	27	好き	201
3	人	1234	28	あり（有り）	192
4	メール	520	29	下さる	190
5	今	475	30	なし（無し）	188
6	場所	441	31	くださる	178
7	くれる	376	32	見る	178
8	掘る	329	33	出来る	177
9	いい	315	34	ケツ	175
10	タチ	310	35	会える	174
11	方（かた）	308	36	プロフ	173
12	普通	302	37	年下	164
13	やる	295	38	来る	164
14	行く	295	39	軽い	164
15	ない	292	40	太め	157
16	できる	289	41	公園	153
17	しゃぶる	286	42	居る	150
18	短髪	277	43	感じ	145
19	ある	269	44	よい	143
20	体型	251	45	良い	142
21	募集	243	46	スリム	141
22	ウケ	241	47	市	139
23	足	238	48	奴（やつ）	139
24	タイプ	218	49	希望	130
25	願い	203	50	今日	130

表4 年代別セックス形態への言及 (\*\*p &lt; .01)

	フェラチオ	アナルセックス	セーフセックス	体液接触	ケース数
10代	6 (8.00%)	8 (10.67%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	75
20代	173 (17.15%)	180 (17.84%)	24 (2.38%)	8 (0.79%)	1,009
30代	187 (20.71%)	217 (24.03%)	46 (5.09%)	13 (1.44%)	903
40代	31 (24.80%)	34 (27.20%)	13 (10.40%)	3 (2.40%)	125
50代	1 (8.33%)	3 (25.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	12
不明	24 (8.70%)	23 (8.33%)	5 (1.81%)	2 (0.72%)	276
合計	422 (17.58%)	465 (19.38%)	88 (3.67%)	26 (1.08%)	2,400
カイ2乗値	31.218**	44.379**	31.993**	5.171	

表5 揭示板毎のセックス形態への言及 (\*\*p &lt; .01, \*p &lt; .05)

	フェラチオ	アナルセックス	セーフセックス	体液接触	ケース数
30代	11 (11.00%)	24 (24.00%)	9 (9.00%)	1 (1.00%)	100
太め	21 (10.50%)	32 (16.00%)	10 (5.00%)	4 (2.00%)	200
中部	142 (18.93%)	100 (13.33%)	27 (3.60%)	5 (0.67%)	750
南部	238 (19.04%)	301 (24.08%)	42 (3.36%)	16 (1.28%)	1,250
北部	4 (8.00%)	4 (8.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	50
離島	6 (12.00%)	4 (8.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	50
合計	422 (17.58%)	465 (19.38%)	88 (3.67%)	26 (1.08%)	2,400
カイ2乗値	16.933**	46.350**	13.208*	4.336	

## 研究成果の刊行に関する一覧

刊行物なし

## 印刷発行物

## メーカー情報記載

機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。  
機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。  
機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。  
機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。  
機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。  
機械工具の販売・貿易、100%の品質保証をもつての販売実績。

この機械工具は、機械工具としての性能を最大限に発揮するための設計です。

nankr.jp



場所: 竹富島(石垣)  
写真: HAJIME デザイン: 加藤慶

中標発! 中標限定期刊  
**nankr.jp**

この機械工具は、機械工具としての性能を最大限に発揮するための設計です。







